

女子硬式野球チーム 来春創設へ

兵庫BSの「兄妹」



女子硬式野球チームの創設について会見する高下沢・兵庫ブルーサンダーズ代表（左）と近畿医療専門学校（近畿医療専門学校）の小林英健理事長＝三田市の球団事務所

三田市を本拠にする野球・独立リーグの兵庫ブルーサンダーズ（兵庫BS）の「兄妹チーム」にあたる女子硬式野球チームが来春誕生する。高校卒業後に野球を続けたい女性らを募り、全日本女子野球連盟に加盟を申請し、関西女子硬式野球リーグへの出場を目指す。兵庫BSを運営するNPO法人「三田・だ・エス・ペランサ」が6日、発表した。

募集ではアマチュアのクラブチームであることから間口を広げ、年齢規定を設けない。入団テストは来年2月に実施する予定。入団する選手にはアルバイトや住まいを紹介し、兵庫BSと同様の練習環境を提供する。

同法人によると、女子野球は盛んだが、関西で大学、専門学校の女子硬式野球部は少ない。このため、高校卒業後に野球に取り組める環境を作ろうと考えたのがきっかけという。

兵庫BSと教育提携をしている芦屋大学（芦屋市）や野球AO入試を検討する近畿医療専門学校（大阪市）に入学すれば、教員やトレーナーなどを目指す勉強をしながら、チームに入って野球に打ち込むことができるという。

エスペランサ理事長で兵庫BS代表の高下沢さんは「女性の挑戦をサポートしたい」と話す。チーム設立を応援する近畿医療専門学校の小林英健理事長は「思い切った野球ができる環境を提供したい」と語った。

問い合わせは兵庫BS事務所（079・556・5702）。

（藤井匠）